

【PDF形式のメリット】

- ・配置画像の添付忘れがなくなります。
- ・PSプリンタ代わりに使用することで、仕上がリイメージを容易に確認できます。
- ・Mac と Windows のプラットフォームをまたぐことが可能になります。
 - Windowsのワードデータ、Macのフォトショップデータ、イラストレーターなどすべてを最終の出力環境下で作業環境を統一できます
- ・PostScriptエラーを回避する方法として使用できます。(解決するケースが多い)

【PDFの作成】

- ・PDF書き出し形式は ①PDF-X1a ②Press が理想です(※ Adobe Acrobat 7 を参考にしています)。
 - デバイスの設定でフォントが自動で埋め込まれます。
- ・PDF書き出しには Acrobat Distiller を使用するのが理想です。(エラーが起こりにくくなる)
 - PSプリンタドライバ → PSファイル → Acrobat Distiller (①PDF-X1a ②Press) → PDFファイル

★注意点

アプリケーションソフトの別名保存のPDF作成は手軽ですが、印刷用ではしようしないほうが無難です。また、PDF Writer を使用するとトラブルが起こりやすくなります。(古い Acrobat)

【フォントの埋め込み】

- ・埋め込まれていないフォントは文字化け、又は異なるフォントに置き換わります。
- ・PDFデータ作成後、念のためフォント埋め込み確認をしてください。
 - Adobe Acrobat ファイルメニュー 文書のプロパティ(フォントタブ)より
- ・PDF書き出し形式 ①PDF-X1a ②Press は自動でフォントが埋め込まれます。(※ Adobe Acrobat 7 を参考にしています)。

★注意点1 … 埋め込みができない

プロポーショナルフォントは上記の書き出し形式でもフォントの埋め込みが完了できない場合があります。文書のプロパティにて確認してください。

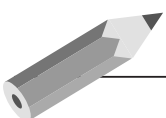
対処方法はオフィスをアップデートしてください。

〈過去の事例〉 Windows Office 2000 使用時

「HG丸ゴシックM-PRO」など「HG…」というフォントを使用している場合。

★注意点2 … 文字が欠けている

- ・DHP 特太ゴシック
- ・DHP 平成ゴシックW5
- ・DHP 行書体
- ・DHP 平成明朝W3
- ・DHP 平成明朝W7



【Windowsデータでの活用】 ※お客様が作成したオフィスデータを印刷する場合

ページ物の場合、使用フォントも一般的なものが多くモノクロ比率が高い。

・お客様サイドでフォントの埋め込み、印刷用PDFを作成していただくことにより、レイアウト崩れ、文字化けの心配が軽減され印刷へまわすことが可能になります。

→ベクトルデータ(解像度:弊社モノクロ出力値600dpi・カラー出力値2400dpi)による高品質!納期短縮!

★注意点

ワードにGIFを貼っている場合、PDF変換で画像が切れることがあります。

半透明やワードアートは特にチェックしてください。

【その他PDF入稿に関するお願い】

・ページ物の場合、PDFファイルは1つのファイルにまとめてください。(バイнда形式)

→ファイルが複数に分かれていると面付けに時間を要します。

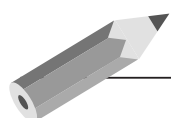
・面付けの際、基本的にはセンターで合わせて付けますのでトンボを付けてください。(位置確認の為)

→オフィスデータ(トンボが付かない)の場合は別途位置の指示をしてください。

・モノクロ印刷の場合、可能ならばモノクロでデータを作成してください。

→カラーデータもRIPでコンポジット1版グレーで出力可能ですが、写真が濃かったり(※BOLDで出力する為)、黄のアミがとんでしまったりする恐れがあります。

※BOLD…通常REAL設定のままですと細明朝がとび気味になるためBOLDに変更します。



Illustrator

- Illustrator の保存形式は Illustrator EPSで1頁ずつ保存してください
(画像を配置している場合は、「配置画像を含んで保存」をチェックしてください)。
- Illustrator の文字はアウトライン化してください(当社に無いフォントは出力できません)。
- Illustrator でトンボを作成される場合は、必ずトリムマークで作成してください。
- 画像を配置するときは、リンクボックスを必ずチェックしてください。
- 1色のものは、CMYKの掛け合わせで作成しないでください(画面上で見た目、1色でも4色掛け合わせになっていることがあります)。
- 1色刷りの時は、なるべくK1色で作成してください。
- ヌリで作った線は画面上で見えても、印刷に出ません。線で作ってください。
- 塗り足し(ドブ)がある場合は3mm程度出してください。
- データ作成中にされたロックは全て解除しておいてください。

Photoshop

- Photoshop EPS 写真データの解像度は原寸で300~350dpiで作成してください。線画は600dpiで作成してください。
- モードをCMYKもしくはグレースケールにしてください。
- Photoshop の保存形式はEPSデータで保存してください。
(エンコーディングはバイナリで)。
- Photoshop でRGBからCMYKに変換した画像は、補正をしてください。
- 1色刷りの時は、K1色で作成してください。グレースケールの画像は、ハイライトシャドウの網点補正をしてください。

InDesign

- 基本的にはPDFに書き出して出稿してください。

その他

- その他のアプリケーションについてはご相談下さい。Windows Office2007・クオークなども対応可能です。
- 出力見本(製本見本)を必ず入れて下さい。その際、そのプリンタ出力見本は、色の見本になるのか明記しておいてください。
- 出力見本とデータの内容が異なる時には、必ずその部分を示しておいてください(どこが違うのか見本に記入)。
- 特色で印刷されるときは、インクのチップを必ず付けてください。
- データは、今回印刷する物だけを記録媒体に全て入れて送って下さい。不要データは入れないでください。
- データの作成サイズは、必ず出力サイズと同じにしてください。

●その他ご不明な点などは下記までお問い合わせください。

東京営業所 北川 圭一 03-5858-6328

大阪本社 小幡 真由美 072-363-3155

